



稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和5年12月20日

第9号(通算162号)

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

2年生修学旅行

12月5日(火)～8日(金)まで2年生は修学旅行へ行きました。写真は、班別自主研修時のものです。

1日目：東伊豆町役場前 → 羽田空港 → 長崎空港 → 雲仙災害記念館 → 島原泊

2日目：宿舎 → 平和祈念像前(献花)・爆心地公園・原爆資料館(見学→講話→見学)
→ ハウステンボス(園内班別行動) → 稲佐山中腹駐車場 → 夜景観賞 → 長崎泊

3日目：宿舎 → 長崎市内班別自主研修 → 長崎泊

4日目：宿舎 → 長崎空港(見学・買物時間含む) → 羽田空港 → 東伊豆町役場



修学旅行のYouTube

修学旅行で

感じたこと、学んだこと

21HR 山下将伍さん(河津中)

原爆資料館や平和講演などでは、行く前はそういう悲しいことがあったという感じで、捉えていたけど実際に見て聞いたことで現実で起きたのだなと実感が湧き、言葉に出来ない気持ちになり、辛いとか一言でまとめて良いものなのかなと思いました。だから、今後世界で戦争や原爆が落とされないように1人1人ができる範囲で平和を実現していきたいなと思いました。班別研修などでは長崎の歴史、名物、観光地を訪れたり食べたりして長崎の良さを知り、また訪れたいなと思いました。

22HR 佐々木未莉さん(稲取中)

戦争の悲惨さや今の生活がどれだけ幸せでありがたい事を講話を聞いて感じました。講話の中で特に印象に残っている事が2つあります。

1つ目は、今道さんが奥さんと結婚する時のお話です。原爆の被災地に居たというだけで被災を受けていなくても白い目で見られてしまうのは哀しいことだなと思いました。

もう1つは、その当時1番辛かったことの話です。食糧不足は今では考えられないような事です。しかし、当時は当たり前のような事であり、逆に裕福である事が良くない。戦争で敵を殺す人、特攻で命を失う人は英雄といった世界で過ごしてい

たと考えるととても切ないです。今回聞いた話を後世に語り継いでいくことが大切だと思いました。

長崎は世界遺産が本当にたくさんあるんだなと改めて思いました。異国感溢れるオランダの景観もすごい素敵でした。また、路面電車も初めて見て、乗れ、このような非日常の生活は楽しすぎでした。

平和公園の像の手や足、表情にまで意味が込められている事を知り、素敵だなとも感じました。

喉も痛く、たくさん歩いたから足も痛くて疲れがどっときましたが、とっても充実した3泊4日を過ごすことができました。

1年生インターンシップ

12月5日（火）～7日（木）まで、1年生はインターンシップを体験しました。

【協力企業35社】東伊豆消防、下田消防署、東伊豆町役場、河津町立文化の家図書館、下田市役所、JA富士伊豆稲取支店、下田海上保安部、河津建設株式会社、ヤマ美容室、小澤美容室、美容室タイガー、iZoo、下田海中水族館、ホテル銀水荘、いなとり荘、伊豆今井浜東急ホテル、マックスバリュ伊豆高原店、誇宇耶、ManasCafe、とんかつえびららいとんえび、蕎麦茶寮須田、下田東急ホテル、伊豆急行、さくら介護、照屋モーターズ、南伊豆認定こども園、稲生沢こども園、東伊豆認定こども園、東伊豆町立ひがし幼稚園、河津町立さくら幼稚園、今井浜病院、康心会伊豆東部病院、東伊豆町立熱川小学校、パティスリー ケセラセラ、東伊豆有線テレビ放送

インターンシップで学んだこと

11HR 山田 望愛さん（下田中）

私はインターンシップで下田海中水族館に行きました。体験をさせていただく上で、自分たちが世話をした動物や魚が元気に泳いでいたり、ショーで人を笑顔にさせていたりすると、とてもやりがいを感じました。また、笑顔が少ないという指摘から、視野を広く持ち、笑顔を忘れないという目標ができました。目標を達成するために、人との関わりを大事にして相手への思いやりの気持ちを忘れないような生活を心掛けたいです。相手も自分も明るくなるようなコミュニケーションを大切にしたいと思いました。



12HR 山本 寛人さん（稲取中）

私は消防士になるために、2日間東伊豆消防署にインターンシップに行きました。インターンシップではミーティング、勤務交代など様々なことを行いました。中でも、心肺蘇生とAEDについての学習が印象に残っています。通報を受け現場に救急車が着くまで9分かると言われています。それまでに心肺蘇生やAEDを行わなければならないので大変です。このインターンシップの体験を生かして、将来消防士になって家族や地域の方々、大切な人を守りたいです。



13HR 近持 真沙斗さん（下田中）

僕は伊豆急下田駅でインターンシップをさせていただきました。下田駅では改札や放送などの体験をしたり駅構内の様々な場所や車椅子のお客様への対応を見学しました。そのような仕事の中で僕は仕事の大変さと同時にやりがいと嬉しさを学びました。特に、改札や集札を終えたときの達成感が大きかったです。また、業務に少し慣れ、テンポよくできるようになった時や上手く放送できた時には下田駅の駅員さんたちはとても優しく、まるで仲間かのように褒めてくださりました。楽しく体験できて本当に良かったです。



3年生遠足

12月8日（金）、3年生は伊豆三津シーパラダイスへ遠足に行きました。

遠足の感想

33HR 宮内 悠作さん（下田東中）

期末テストも終わりを息ついたところで私達は遠足へ行ってきました。友達の私服のおしゃれさに圧倒されつつ、三津シーパラダイスへ行きました。水浴びをしているセイウチが可愛かったです。ここでしか買えないものを買おうと、マスコットキャラクターうちーの貯金箱を買いました。とてもキュートで大満足でした。ららぽーと沼津のポーリングでは接戦の末、惜しくも1位は逃しましたが良い試合ができました。もうすぐ卒業で寂しいですが、最後にとっても楽しい思い出ができて良かったです。



合格体験記

3年生は2学期、進路実現のため頑張りました。3年生の進学合格体験記を紹介します。

合格体験記「後輩に向けてのエール」

33HR 鈴木 涼雅さん（稲取中）

進学先 北見工業大学（地域未来デザイン工学科）

私がこの大学を志望し始めた時期は、9月、10月頃でした。国立大学、かつ、情報系を学べるためセキュリティエンジニアを目指している私に最適だと考え志望しました。

それから志望理由書や面接の対策、過去問に取り組みました。入試まで、毎日欠かさず勉強を行ったことで、当日は、私の魅力を全て伝えることができ、合格することができました。

私の経験から言えることは2つです。1つは対策は飽きるまでやること。もう一つは、前日にしっかりと荷物を確認することです。

自分の進路を実現するために、頑張ってください！！

33HR 内藤 優里菜さん（南伊豆東中）

進学先 流通経済大学（社会学部国際文化ツーリズム学科）

私は受験勉強を始めるのは遅かったです。試験日が近づくにつれてとても不安と緊張でいっぱいになりました。そのような中、クラスの友達が勉強を教えてくれたり応援してくれました。お互い助け合ってきたので、本番もみんながついているから大丈夫！と思えました。未来のことを想像するのは難しいかと思いますが、皆さんなら絶対に大丈夫です。百折不撓（ひやくせつぷとう）で頑張ってください。つらいと感じる時もあるかと思いますが、生きていく実感がいいと思います（笑）最後まで自分に負けずに戦い抜いてください。心から応援しています！

※百折不撓とは、何度失敗しても志をまげないことと意味します。

1月10日（水）、1・2年生は課題テストです。しっかりと準備を行いテストに臨みましょう。

2学期終業式
校長先生のお話のYouTube

